

-----  
[ 成果情報名 ] 平成15年定植におけるイチゴ「あまおう」の作型・地域別の収穫パターン  
[ 要約 ] 収穫始期は、9月1半旬定植では気温が高い地域が1旬早く、遅い定植では気温が低い地域が1旬遅くなる。頂果房収穫ピーク時期は、収穫始期以上に地域間差が広がる。1月までに高収量を得るためには、気温の低い地域では早い定植時期が有利である。

[ キーワード ] イチゴ、あまおう、地域、作型、収穫期

[ 担当部署 ] 野菜栽培部・イチゴ栽培チーム、豊前分場・野菜・水田作チーム、筑後分場野菜チーム

[ 連絡先 ] 092-922-4364

[ 対象作目 ] 野菜

[ 専門項目 ] 栽培

[ 成果分類 ] 技術改良

-----

[ 背景・ねらい ]

新品種「あまおう」の普通促成栽培では第1次腋花房の花芽分化が遅いことから収穫が12月後半に始まり年内の収量（収益）が低い。そのために、夜冷短日処理や低温暗黒処理による促成栽培の導入が進んでいる。

しかし、これらの促成栽培では、「とよのか」以上に頂果房と第1次腋果房の連続性が低く、1～2月に収穫の中休み現象が発生し安定生産の観点から問題となっている。

そこで、冬季の安定生産のために作型・地域別の生育や収量性、収量パターンを明らかにする。[ 要望機関名：生産流通課(H15)、北筑前、南筑後普(H16) ]

[ 成果の内容・特徴 ]

- 1．夜冷短日処理による4作型の促成栽培や普通促成栽培における頂果房収穫始期は、9月5日定植では大木町が筑紫野市や行橋市より1旬早くなり、9月16日以降定植では行橋市が大木町や筑紫野市より1旬遅れる。（表1）
- 2．頂果房の収穫ピーク時期は、普通促成栽培では大木町が筑紫野市や行橋市より1旬早く、9月10日以降の定植では行橋市が大木町や筑紫野市より1～2旬遅れる。（表2）
- 3．平成15年の頂果房の収穫開始期や収穫ピークが地域により異なる原因は、定植後の気温が異常に高かったこと、および大木町では平均気温が高く、行橋市では低いことがあげられる。（表3）
- 4．最高収量が得られる定植時期は、大木町で9月16日、筑紫野市で9月10日、行橋市で9月5日であり、気温が低い地域では早い定植時期が有利である。また、早い定植ほど1月の収量が少なく、特に大木町では顕著であるが、定植が遅くなるほど総収量が低下する問題がある。（図1）

[ 成果の活用面・留意点 ]

- 1．「あまおう」の栽培基準の資料に活用できる。
- 2．「あまおう」の作型を組み合わせの資料として活用する。
- 3．平成15年は11月～12月上旬が平年に比べ高く、平年と比べると4～5日定植が早い生育である。

[ 具体的データ ]

表1 頂果房の地域別・作型別の収穫始期  
(平成15年)

作型	夜冷短日処理					普通促成
定植日	9月5日	9月10日	9月16日	9月19日	9月24~26日	
大木町	11月上旬	11月下旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬	
筑紫野市	11月中旬	11月下旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬	
行橋市	11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬	

注) 普通促成定植日: 大木町9月24日、筑紫野市9月25日、行橋市9月26日  
筑紫野市で9cmポリポットで育苗した苗を大木町と行橋市に定植  
ただし、大木町の普通促成は、自家育苗した愛ポットを使用

表2 地域別・作型別の収穫ピーク時期  
(平成15年)

作型	夜冷短日処理					普通促成
定植日	9月5日	9月10日	9月16日	9月19日	9月24~26日	
大木町	12月上旬	12月上旬	12月上旬	12月中旬	12月下旬	
筑紫野市	12月上旬	12月上旬	12月中旬	12月中旬	1月上旬	
行橋市	12月上旬	12月下旬	12月下旬	1月上旬	1月上旬	

表3 地域別平均気温の比較 (筑後市との温度差)

	15年平均気温	9月			10月			11月			12月			1月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
太宰府市		-0.4	-0.2	-0.8	-0.3	0.4	0.0	-0.2	-0.1	-0.3	0.0	0.6	0.5	0.4	0.5	-0.1
行橋市		-1.1	-0.7	-0.9	-1.1	-0.5	-0.4	-0.9	-0.9	-1.0	-0.1	0.4	1.7	0.1	-0.1	-0.2
筑後市	15年-年平均気温	3.1	2.4	0.0	0.1	-0.8	-1.3	3.6	1.9	2.7	1.4	-1.1	0.0	0.5	-0.6	-2.5

注) 太宰府市と行橋市は筑後市との温度差。  
太宰府市と行橋市の平均気温は、アメダスデータ  
筑後市の平均気温は、九州沖縄農業研究センター水田作研究部データ  
筑後市の平均気温の平年は、1971~2000年の平均

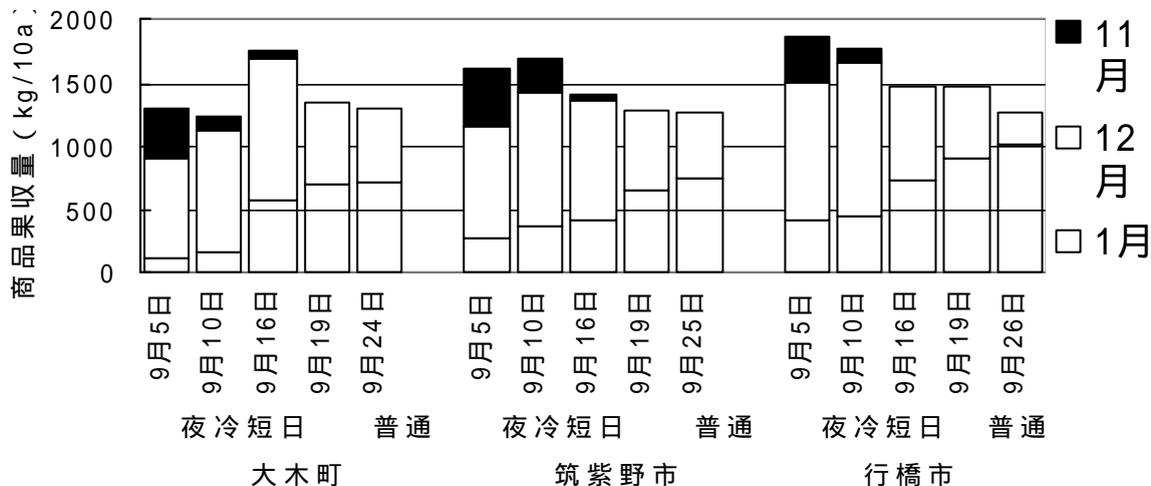


図1 地域別の1月までの収量 (平成15年)

[ その他 ]

研究課題名: イチゴ新品種「あまおう」の栽培技術の確立

予算区分: 経常

研究期間: 平成15年度 (平成13年~平成16年)

研究担当者: 北島伸之・田中良幸・水上宏二・佐藤公洋